

乾燥注意！
加湿 大事だワン



工房だより

大地がらの恵みふらぽい
ドッグフード
工房

2021年02月号

vol. 33

～ ペットののための自然食キッチンから～

飼い主様からのコメント

同胎の兄妹なんです。くうちゃんは妹です。週末はドックランで遊んでいる仲良し兄妹です。

微笑ましいワンショット。美しい兄妹ですね。

素敵なお写真ありがとうございました。

※ワンワンキャンペーン #2匹のわんこ 入選写真



今月の一枚

右 麦芽くん 5才
左 くうちゃん 5才

イタリアングレイハウンド



Say cheese!

ワンちゃんのお写真募集中！
メールにて一言添えてお送り
ください。採用された場合に
は心ばかりのお礼をお送りし
ます。

info@petfood-kitchen.co.jp

ドッグフード工房のこだわり

十五年近く、ドッグフード工房をつくりながら、大切にしていること、またこれからも大切にしていること、3つのこだわり【食材・無添加・つくり方】について、お話しさせていただきます。

一般的なペットフードの原料を説明する際、「ヒューマングレード」という言葉が使用されていますが、ドッグフード工房で使用されている材料は、「ヒューマングレード（人用と同じレベルの品質）」ではなく、人が食べている食材そのものを使ってフードづくりをしています。

また、食品添加物、飼料添加物はもちろん、合成・天然を問わず栄養強化を目的としたビタミン、ミネラルのサプリメントも一切使用していません。



わたしたちと同じように犬も食べたものでカラダができています。微量栄養素に至るまで全ての栄養を食材から吸収しようという考えから、完全無添加にこだわっています。

自然素材から栄養をとること、これは、私たち人間の食事で考えれば普通なのですが、ドッグフードでは普通ではありません。私たちはワンちゃんに毎日、普通の食事をとってもらいたいと考えています。

また、ドッグフード工房は、通常のドライフードの製造方法とは全く異なる方法でつくっています。

高温高圧をかけず、また、発泡させてもいません。素材の栄養素や酵素を壊さないよう低温で調理する独自の「生づくり製法」にこだわっています。

肉は生肉を、丁寧にミンチをかけて他の材料と混ぜりやすいようにしています。お米は焚き、野菜は生野菜を使用し、切っただけで蒸す。茹でるほうが加工上は簡単ですが、蒸すことで消化しやすく、かつ、水溶性ビタミンが溶けだしてしまわないよう配慮しています。

良質な食材を、手間暇をかけて丁寧に調理することで、消化吸収のよい、カラダに優しいドッグフードをつくる。

これが私たちのこだわりです。

愛犬と心を通わせていますか？

(十七) 犬と旅

前回、犬種によって遊ぶ遊び方が違うのは、犬種の役割による違いが関わっているとお話しさせていただきました。

さて、今回は犬と旅と題してお話しさせていただきます。ワンちゃんにとって知らないところに行くことは、とても緊張することであり、不安なことでもあります。ここでワンちゃんが頼りにするのは、飼い主様です。ワンちゃんの気持ちを察し、応え、さらに信頼関係を深めるよいチャンスにもなります。スモハはしまって、ワンちゃんと一緒に景色を楽しんだり自然を満喫したり、一緒にいる時間を楽しみましょう。

歳を重ねてくると、自分の体が思うように動かなくなったり、目が見にくくなったり耳が遠くなったりすることで、不安感が強くなってしまふ犬もいます。ワンちゃんは、疲れたなどと言わず、飼い主様の楽しんでいる姿に無理をして合わせることもあります。ワンちゃんに合わせ、いつでも変更可能な安心して過ごせる無理のないプランを。



旅の前に、ワンちゃんの準備は、

・予防接種（狂犬病含む）・トイレのしつけ
・シャンプーやブラッシングでダニやノミの駆除・クレートやケージに慣れさせる、など日常生活の過ごし方次第でいつでも旅に出る準備は整います。

まずは近場（移動時間1〜2時間）から。電車で移動する際は、各鉄道会社のMIRASAイトから乗車ルールをご確認ください。

JRでは、キャリアと合わせて10kg以上の重さになる場合は、乗車できません。

旅にかかわらず、ワンちゃんと共にたくさん時間を過ごしていくうちに、お互いにとってかけがえのない完璧なパートナーになっていくものです。

「愛犬と心を通わせていますか？」は次回一八回目を持ちまして最終回となります。

「いつも一緒」と題して一緒にいることの大切さをお話しさせていただきます。

監修：家庭犬ドッグトレーナー 廣瀬佐知子



Chap10: 続・車でのお出かけ

【高尾さんちの叶ちゃん】

叶ちゃん、初めての遠出。行先は「成田ゆめ牧場」。バタバタの出発となりましたが、車中は工さんと房さんの会話を子守唄にスヤスヤと夢心地。気が付くと車はパーキングエリアに。（ここは何処？）

「さあ叶ちゃん、ちよっと休憩しましょう。叶ちゃんのお友達いるかなあ。」房さんに優しく声を掛けられ、緊張気味だった叶ちゃんも（なんだ楽しいところなのね。）と安心して房さんの横につきました。工さんが房さんにリードを短くした方がいいと、提案いたしました。房さんは、私もそう思っていたけど、犬友からリードを短くして引き寄せると、ワンちゃんが「いつもと違う、何々になかあるの？」と緊張して敏感に反応



してしまうのでかえって逆効果だと、いう話を聞いたことを伝えました。少しだけゆとりを持たせて、私たちが気を配っていたら大丈夫よ。確かにそうだねと、うなずきながら叶ちゃんを横目で見ると、安心しきった様子できよろきよろと楽しそう。（わあ、いいにおいがする、なんだらう…。お友達もいるいる。あーワクワクが止まらない。チッチもしたし、スッキリ快調よ）と、叶ちゃんは、工さんの心配をよそに、絶好調です。

つづく

